

令和4年度 第9回金谷区地域協議会

次 第

日時：令和4年11月22日(火)午後6時～

会場：福祉交流プラザ 第1会議室

(全体：1時間程度を予定)

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 諮問事項 新市建設計画の変更について (通知)

4 議題

(1) 地域活性化の方向性について

5 事務連絡

6 閉 会

上企第 37637-3 号
令和 4 年 11 月 10 日

金谷区地域協議会
会長 村田 敏昭 様

上越市長 中 川 幹 太
(企画政策部企画政策課)



新市建設計画の変更について (通知)

令和 4 年 9 月 29 日付けで答申のあった諮問第 29 号新市建設計画の変更について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

新市建設計画の変更について、計画を変更する手続きを進めることとします。

今後、パブリックコメント、県との法定の協議を経て、令和 5 年上越市議会 3 月定例会に議案を提出する予定です。



南部まちづくりセンター

委員による「地域活性化の方向性」のアイデア

資料No. 1

《金谷区の地域活性化に向けて》						構成要素						
						1	2	3	4	5		
金谷山 関連	1	金谷区の	豊かな自然と豊富な雪	という個性（強み、特性）をいかして、	金谷山を地域の人や訪れる人の憩いの場とし	ます。	スキー発祥の地としての金谷山スキー場の発信。	金谷山各種のイベントに伴う、雪回廊等の企画と実施。	金谷山周辺の美しい自然を生かしたイベント企画。	金谷山を整備し、憩いの地としての企画と推進。		
	2	金谷区の	広大なエリアと歴史	という個性（強み、特性）をいかして、	元気な地域づくりを目指し	ます。	新幹線・インター・山麓線を中心に交通アクセスの良さを生かす。	山麓線を中心に商業施設の充実を図る。	金谷山公園の歴史と文化を活かす観光事業の充実。	公民館、産直市場、ヨーデル金谷等による地域の活性化。	公民館、キャンプ場を生かすイベントの開催。	
	3	金谷区の		という個性（強み、特性）をいかして、			ます。	豊かな自然環境とそれに支えられた美しい景観、美味しい食物（南葉山、金谷山、二つの認定された棚田、水源、米、野菜、山菜）	中心市街地等へのアクセスのよい交通網と住みよい住環境	拠点となる施設（ヨーデル金谷、スキー場、南葉山キャンプ場、正善寺工房、地球環境学校、新公民館）	地域ぐるみで行う子どもの教育	これらを盛り上げる各種地域団体や、おもてなしの心をもった人たち（これら全ての構成要素が観光資源になり得る）
	4	金谷区の	シンボルとも言える金谷山と、地域全体の豊かな自然	という個性（強み、特性）をいかして、	交流人口を増やし、人・アイデア・活動が『つながっていく』地域を目指し	ます。	山麓線沿いに道の駅を整備※やすづかや豊田（長野）くらいのコンパクトなイメージ ※金谷地区公民館の整備も計画されている。	まずは、金谷山公園・BMX場・ヨーデル金谷付近で足を止めさせることが最大のポイント。 ここを ・各種情報発信の拠点とする⇒金谷区の名所旧跡・各地域・地域活動の紹介 ・様々な地域活動の拠点とする ・地域防災の核とする ・ヨーデル金谷によるミニフードコート運営	農家産直市場併設 ・ヨーデル金谷との食材コラボ・ヨーデル金谷による運営 ・フリーマーケットとの連携（上越若者みらい会議など） ・計画中の公民館に大きめの雁木があれば、雨天でのイベントも可能となる。 ・地域内の特産品の販売。かなや味噌、原木・薪・稲わらなども。 ・周辺の生徒・学生との連携（農作物販売や職業体験）	ヨーデル金谷の売上アップへ ・農家産直市場との連携（食材・運営） ・平日ランチ限定サラダバー ・オリジナル地ビール ・金谷山公園へのデリバリー ・近隣の運動部学生とのコラボ		
	5	金谷区の	金谷山中心とした歴史文化	という個性（強み、特性）をいかして、	観光、集客を推進し	ます。	金谷山中心に名所旧跡がたくさん存在する。これを活用することで地域活性化につながる。	上越市が通年観光を目指しており、是非、クラフトビール工房建設を実現したい。	ヨーデル金谷とクラフトビール工房が連携強化を図り運営すれば成功する。隣地に金谷地区公民館もできる。	青年会議所が麦の生産を試みているので、是非連携してできないか。	金谷地区だけでは無理なので、上越市の力が必要。	
	6	金谷区の	恵まれた自然と数多く残る歴史・史跡	という個性（強み、特性）をいかして、	誰もが住みやすい魅力のある地域づくりを目指し	ます。	金谷山公園・紫陽花ロード並びに滝寺自然公園等の整備・集客の強化	歴史文化の継続並びに推進（次世代への継承）	災害に強い地域を構築する（若者の資格取得や訓練等の積極的な参加推進）	地域間での支え合いの精神を養う（近隣接町内との交流等）	地域の宝を発掘並びに推進（地域の子もたちとの交流等）	
	7	金谷区の		という個性（強み、特性）をいかして、			ます。	金谷山公園、南葉山キャンプ場、正善寺ダムなど自然公園とヨーデル金谷や近隣の商業施設との連携。ピクニック、BBQ、スキー時に利用できるプラン	上越高田インターから直江津までの間に位置する金谷山公園の立地条件を考え、休憩所や産直市場のような道の駅化。	世の中に疲れた方に自然の中の暮らしや仕事を提供する。空き家や農地の利用→市場への出荷。見守りやサポートが必要な方々を支え合える生活。		
	8	金谷区の	歴史と自然	という個性（強み、特性）をいかして、	人が集まってくる地域づくりを目指し	ます。	史跡の維持管理（滝寺不動尊・会津墓地など）	正善寺ダムの紫陽花ロードなどの整備	ヨーデル金谷周辺の道の駅（整備）	南葉高原周辺の整備	金谷山公園周辺の整備	
	9	金谷区の	金谷山、ヨーデル金谷、歴史の道など	という個性（強み、特性）をいかし			ます。					

《金谷区の地域活性化に向けて》							構成要素				
							1	2	3	4	5
金谷山 関連以外	10	金谷区の	豊かな自然と、山麓線沿いの利便性	という個性（強み、特性）をいかして、	活力ある町づくりを望み	ます。	中山間地の豊富な山菜や野菜の活用（加工・販売）。山菜取りや野菜づくり、販売は若者に担ってもらおう。指導は高齢者。	販売の拠点となる産直広場を山麓線沿線に作る。高齢者や子ども連れが半日はゆっくりできる仕掛けも必ず併設。	高齢者の知恵を若者に伝授できる組織（活老＋若者の生きる力を養う場）づくり。例えば、山菜取り・田畑の手入れ・間伐や薪作り・炭焼き等々。	積極的に参加できる若者対象に、Wi-Fi環境の整ったシェアハウスを用意する。	適度にイベントも組み合わせて活気づくりも。
	11	金谷区の	恵まれた自然と文化	という個性（強み、特性）をいかして、	少子高齢化の問題解決に向かい、地域を活性化し	ます。	行事等は地域全体を考慮に入れて行う。	地域が広いので交通の便を考える。	子どもときから金谷区全体を意識するようにする。	誰もが安心して暮らせる地域を目指す。	自然・文化を目的とした観光ルートに力を入れ整備する。
	12	金谷区の	豊かな自然・地域の宝	という個性（強み）をいかして、	若者・子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを目指し	ます。	地域内の各団体との連携を密にし、歴史・文化を学び金谷区の活性化を図る。				
	13	金谷区の	身近で豊かな自然	という個性（強み、特性）をいかし	活力と魅力あふれる地域づくりを目指し	ます。	地域住民が主体となった環境整備活動等の推進	地域活性化を目指す諸団体のネットワーク化	自然に親しむ施設の充実と利用促進	自然を活かした食材や資材の開発と活用の促進	自然に親しむ体験活動等のイベントの開催
	14	金谷区の	人・組織・地域の三本の矢	という個性（強み、特性）をいかし	働きやすい・住みやすい・魅力的な「地域」を活性化していく	ます。	地域活性化の担い手は私たち一人ひとり。	誰もが豊かさを享受しながら維持継続できるモデルを取り込む。			
	15	金谷区の	豊かな自然	という個性（強み、特性）をいかし	人間を大事にし	ます。	活性化はなんといっても人と人とのつながりが重要と思います。いろんな活動をするにも人が動くことが大切。（人が動くことにお金をかけていない。どうかバーしたらいいんでしょうか。）				



名立区 地域協議会だより

【第43号】2022年10月25日発行

発行：名立区地域協議会
編集：協議会だより編集委員
事務局：名立区総合事務所
総務・地域振興グループ
電話：025-537-2121



地域によりそう

会長 原田 秀樹

当協議会では「地域活性化の方向性」について、名立区の特長、地域資源、文化、様々な要素に対し対応可能なものを目指して協議を重ね、9月20日にこの方向性を策定しました。

この方向性の根本に求められるものは、地域住民一人ひとりと、名立という地域により、そうものなればならないと思っています。

方向性に基づく具体的な事業については、今後協議を進める中で深めていかなければと考えていますが、地域づくりの基本として認めていただければ、協議会委員の皆さんや地域の皆さんとともに、着実に進めていきたいと思っています。

今後とも、当協議会をよろしく願います。

地域活性化の方向性とは・・・地域協議会において地域の活力向上に向けた議論を進めるに当たり、特に重視したいこと、大切にしたいことを、地域協議会と市の間で認識を共有するために、市から各地域協議会に作成のお願いがあったものです。

名立区の「地域活性化の方向性」

◇推進目標◇

名立区の豊かな自然と歴史文化を活かし、次代を担う人を育て、地域で支え合う誰もが安心して暮らせるまちを目指していきます。

◇構成要素◇

- ・地域固有の資源（山・川・海 ほか）を活用した地域の振興
- ・歴史・文化の継承、平和を願う活動の継続・発展
- ・次代の名立区を担う人材の育成
- ・若い世代も一緒になったまちづくりの取組
- ・いつまでも安心して暮らすことのできる福祉の充実
- ・地域全体での支え合いの推進

地域活動支援事業活動報告～名立駅・マイ・ステーション作戦事業～

名立駅マイ・ステーション（MS）作戦

三浦 元二

MS作戦は平成23年8月に始まり、10年を超える取組の中、名立駅はJR西日本からえちごトキめき鉄道への経営移管や、現在地に移転して50年が経過するという節目を迎えました。

この間、地域の皆さんに支えられながら様々な活動を行ってきましたが、人口減少や高齢化に加え、コロナ禍の影響もあり、「名立駅の利用促進と名立駅を核とした地域活性化」という思いを持ち続けることの難しさを感じる時もあります。そうしたときに思い起こすのが、昭和39年の直江津・浦本間の長大トンネル化計画への反対運動です。名立駅がなくなってしまうことに対し、地域一体となって決起集会やデモ行進などを行った結果、名立駅が存続されることになったのです。

当時と時代背景や社会状況のほか、活動内容も違いますが、「私たちの名立駅はみんなが守り、つなげる」という願いは同じであり、MS作戦を継続することで次代にそうしたい思いを伝えていかなければならないと考えています。



地域協議会と区内の活動団体との意見交換会を開催

「地域活性化の方向性」の作成や今後の名立区に必要な事業の検討を行うために、名立区内で活動している団体と意見交換を行いました。

また、市から「ろばた館の存続について」の意見書に対する回答があったことから、その報告と今後の方策について、ろばた館関係団体と意見交換を行いました。



(7月19日に行われた意見交換会の様子)

日付	題目	団体名	内容
7月14日	区内の地域活動団体との意見交換会【産業関係】	名立商工会、不動生産森林組合、上越市漁業協同組合名立支所	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域活性化の方向性」の作成経緯についての説明 ・各団体の現状・課題や令和5年度以降の活動希望聞き取り ・意見交換
7月19日	区内の地域活動団体との意見交換会【福祉・教育関係】	社会福祉協議会名立支所、名立区住民福祉会、名立老人クラブ連合会、名立いきいきサロン運営協議会、名立の子どもを守り育む会	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域活性化の方向性」の作成経緯についての説明 ・各団体の現状・課題や令和5年度以降の活動希望聞き取り ・意見交換
7月20日	ろばた館の活性化方策に関する意見交換会	上名立地区振興協議会、名立区住民福祉会、名立老人クラブ連合会、名立いきいきサロン運営協議会、折平芸能保存会、操美会、深雪加工グループ、ひまわり会	<ul style="list-style-type: none"> ・「ろばた館の存続について」の意見書及び回答書の説明 ・ろばた館の活性化方策についての意見交換



意見交換会に参加して

二宮 香里

7月14日、19日に地域自治推進プロジェクトの一環として地域の活動団体の代表の方々と意見交換会を行いました。

お話を伺う中で、共通して課題となっているのが、人手不足と次代の人材育成ではないかと感じました。現在携わっておられる方々は大変熱心で、この熱意をどうにかして次の世代に渡したいと思いました。

例えば、名立の子どもを守り育む会は、予算が少ない中でも、関係者の協力のもと非常に精力的に活動されています。若い人がどうすればもっと社会貢献活動に参加するのかや小中学生だけでなく、保育園児も含めたスマホとの関わり方の啓発、若い世代の引きこもりや自殺対策も考えたいと仰っていました。

地域の宝である子どもたちのために、名立区を住みやすいまちにしたいと決意を新たにしました。

編集後記

収まるところを知らないコロナ禍。各種行事計画が中止縮小されている時節、区内でも三年ぶりに万全な対策をとり、名立まつりが開催された。

例年の子供神輿の巡行は無く、区内四方所で地域の特性を生かした前夜祭が催された。それぞれのブースには参加者を楽しませる仕掛けがあり、賑わった。本祭りも雨上がりの夜空を彩る大スターマインに歓声があがった。

金鳥の夏日本の夏が終わり、緊張の秋が来た。中川市長の方針で市政が大きく変わろうとしている。地域協議会の一員として緊張感を持って対応していく。

(編集委員 徳田 幸一)



6 地区連絡協議会と板倉区地域協議会との意見交換会開催結果（抜粋）

■開催実績

- ① 筒方地区 令和4年7月15日（金）午後7時～ 会場：旧筒方小学校
参加者…筒方地区連協10人、委員5人、総合事務所3人 計18人
- ② 豊原地区 令和4年7月22日（金）午後7時～ 会場：板倉コミュニティプラザ
参加者…豊原地区連協4人、委員5人、総合事務所4人 計13人
- ③ 寺野地区 令和4年7月23日（土）午後6時～ 会場：下西ふれあいセンター
参加者…寺野地区連協16人、委員5人、総合事務所4人 計25人
- ④ 針地区 令和4年7月24日（日）午後2時～ 会場：板倉コミュニティプラザ
参加者…針地区連協7人、委員6人、総合事務所3人 計16人
- ⑤ 宮島地区 令和4年7月30日（土）午後5時～ 会場：板倉コミュニティプラザ
参加者…宮島連協21人、委員5人、総合事務所3人 計29人
- ⑥ 山部地区 令和4年7月31日（日）午後7時～ 会場：ゑしんの里記念館
参加者…山部連協7人、委員6人、総合事務所2人 計15人